

「スリットウォール工法」事業の譲受に関するお知らせ

日本興業株式会社

日本興業株式会社（香川県さぬき市、代表取締役 多田綾夫。以下、「弊社」という。）は、株式会社関三吉商店（和歌山県新宮市、代表取締役 関 康之。以下、「関三吉商店」という。）との間で、同社の100%子会社であるスリットエンジ株式会社（和歌山県新宮市、代表取締役 関康之。以下、「スリットエンジ社」という。）の保有する補強土擁壁工法「スリットウォール工法」に係る事業を譲り受ける旨の事業譲渡契約を締結し、本日付で事業の譲受が完了いたしましたので、以下のとおりお知らせいたします。

記

1. 事業譲受の目的

弊社は、プレキャストコンクリート製品の総合メーカーとして、土木資材事業、景観資材事業、エクステリア事業の3事業を柱に全国に事業展開しております。また、本年1月に葉月工業株式会社（鹿児島県鹿児島市、代表取締役 原田秀作。以下、「葉月工業」という。）を連結子会社化し、同社の展開する法面保護工事業を新たな事業分野に加え、さらなる事業領域の拡大を目指しております。

このたび関三吉商店より事業譲受した「スリットウォール工法」は、鋼製壁面材とチェーン補強材を用いて壁面を補強することで、耐久性・安全性および減災性を追求した補強土擁壁工法であり、既存の補強土工法にない排水機能を有しております。すでに和歌山県内を中心に約300件の納入実績があり、山間部における法面保護や、宅地造成等に係る盛土の補強などに向けて、高い施工性と優れた強靱性により、安全で効果的な壁面保護を実現する工法です。

弊社はこれまで、山間部や宅地造成等の法面保護に向けてプレキャストコンクリート製の擁壁製品を多数ラインナップし、ユーザーのニーズにお応えしてまいりました。今般、新たに補強土擁壁工法「スリットウォール工法」を事業に取り入れることで、法面保護の現場におけるさまざまなニーズに対して、より効果的に提案・対応することが可能となります。今後も多発の予想される豪雨災害に伴う山間部の防災・減災対策として、ならびに宅地造成やメガソーラー造成事業等で生じる危険な盛土への安全・安心の確保に向けて、弊社は、プレキャストコンクリート製品、葉月工業の担当する法面保護工事、そして「スリットウォール工法」の三位一体により法面保護のソリューションを一層推し進め、多様化するニーズにお応えしてまいります。

2. 譲受事業の内容

「スリットウォール工法」に係る事業一式

3. 相手先の概要

(1) 会社名	関三吉商店株式会社
(2) 本店所在地	和歌山県新宮市橋本1丁目12-10
(3) 設立年月日	1951年1月
(4) 資本金	10百万円
(5) 代表者	代表取締役 関 康之
(6) 事業内容	建設管工資材販売、補強土擁壁工法メーカー

(1) 会社名	スリットエンジ株式会社
(2) 本店所在地	和歌山県新宮市橋本1丁目12-10
(3) 設立年月日	2015年2月
(4) 資本金	10百万円
(5) 代表者	代表取締役 関 康之
(6) 事業内容	土木事業における補強土擁壁の工法および資材の開発・設計・製造・販売

4. 日程

契約締結日	2023年8月25日
譲受実行日	2023年10月2日

【ご参考】スリットウォール工法について

軽い

- ・壁面材は1枚20kg
- ・チェーンは袋詰めで持ち運びが簡単

強い

- ・鋼製壁面は全体が一体化し剛性が高い

早い

- ・標準施工面積約30㎡/日
- ・コンクリート基礎不要
- 組立が簡単

チェーンと土の補強 「摩擦+支圧+剪断」の三位一体効果 チェーンは最良の補強材

チェーン(鎖)の性能に着目

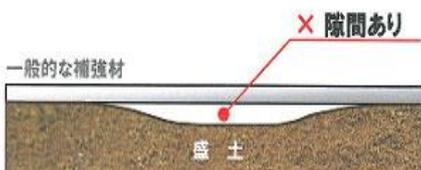
補強方式：摩擦抵抗+支圧抵抗

チェーン 想定外周すべり面

B:チェーン幅
beta B:想定抵抗幅

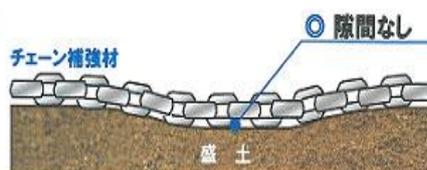
(一般的な補強材)

補強材と設置面の間に隙間がある場合、摩擦抵抗力が損なわれるため十分な盛土補強効果が得られない。



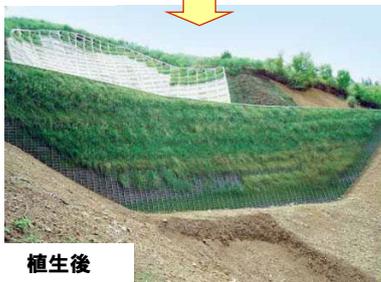
(チェーン補強材)

チェーンは設置面の不陸部に追従するため摩擦抵抗力を維持し、十分な盛土補強効果が得られる。





施工直後



植生後



・壁面材には枠型と網型があり、壁面の緑化も図れます。

◆ニュースリリースについてのお問い合わせ先
〒769-2101 香川県さぬき市志度 4614-13
日本興業株式会社 総務人事部
TEL : 087-894-8130

◆「スリットウォール工法」についてのお問い合わせ先
〒769-2101 香川県さぬき市志度 4614-13
日本興業株式会社 土木資材事業部
TEL : 087-894-8134

以 上